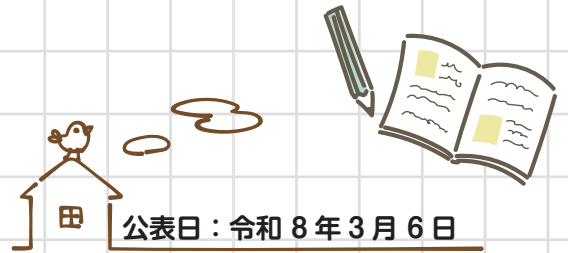


令和7年度

COMPASS 発達支援センター熊本東 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年3月6日

○事業所名	COMAPASS発達支援センター熊本東 保育所等訪問			
○保護者評価実施期間	令和7年9月12日		～	令和7年9月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年9月8日		～	令和7年9月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月12日		～	令和7年10月11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9	(回答数)	9
○事業者向け自己評価作成日	令和7年10月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内でも定期的な勉強会を実施しています。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報共有・意見交換をおこないながら、職員のさらなるスキル向上と支援の質の向上に努めてまいります。
2	(報告書の作成) 訪問後に支援内容を振り返りながら報告書を作成することで、児童の言動や支援内容を整理・分析し、当日の支援内容に加えて新たな視点での助言や支援の検討につなげることができます。	訪問支援の内容は職員間で共有し、より適切なアドバイスができるよう意見交換をおこなっております。また、保護者様にも報告書を読んでいただき、ご家庭でも取り組めることをアドバイスしています。	児童の成長や状況の変化に応じて、児童・保護者様・訪問先施設それぞれのニーズを丁寧に把握できるよう、日頃からのコミュニケーションを大切にしながら支援に努めてまいります。
3	(円滑な移行支援) COMPASS発達支援センター熊本東は、児童発達支援と放課後等デイサービスを併設しており、就学前から児童の様子や特性などの情報共有をおこなうことで、支援の方向性を統一し、入学後の学校生活を円滑にスタートできるよう支援しております。	担当者会議を園や学校の担任の先生にも出席していただけるよう、相談支援事業所のご担当者さまに調整をお願いしています。	熊本市教育委員会と熊本市こども局こども発達支援センターの合同研修に参加し、インクルージョン教育についての理解を深めつつ、地域の学校、園、事業所との交流を図っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	令和7年6月1日に保育所等訪問支援事業者に指定されました。 訪問支援員の訪問支援の分野での実務経験が浅く、まだ訪問施設の先生方とお話しするタイミングを図りかねているところがあります。	活動の流れの中で、タイミングを見てフィードバックのお話しをさせて頂こうと考えていましたが、訪問施設ごとに、その日の活動内容ごとに、児童や周りの状況ごとに、お話しができるのと、難しいときがあると分かってきました。	知識や経験を深めるため、研修会への参加や事業所見学などの機会を設け、訪問支援員としての専門性の向上に努めてまいります。 また、訪問日時の調整時に訪問先施設の先生方とお話しする時間を設けていただけるよう相談し、難しい場合には電話等を活用して情報共有や助言の機会を確保できるよう努めてまいります。
2	より細かなニーズに対応した支援を可能にするために、多職種での訪問支援ができるようになればと思います。	現在は専門職の人員数が限られているため、児童発達支援、放課後等デイサービスとの兼務が難しい状況です。	専門職の人員確保に向けた求人をおこなうとともに、日々の療育や勉強会を通して職員一人ひとりの専門性の向上に努め、訪問支援員として必要な知識や技能の向上を図ってまいります。
3	ペアレントトレーニングや保護者様の会の開催には、現時点で至っておりません。	個人情報の取り扱いや、開催日程の調整が難しい状況が課題となっております。	保護者様のご意向やニーズをうかがいながら、個人情報の取り扱いや日程調整に配慮し、熊本エリア全体での開催なども含めて実施方法を検討してまいります。

